

**モニタリングサイト 1000 里地調査
中・大型哺乳類調査データ (2005～2012)
の概要と利用上の注意点**

(2022 年 7 月版)

目次

I.	利用上の注意点	1
II.	データセットの概要	1
III.	データの種類とその概要	2
IV.	各データの構造・変数についての説明	3
	1. DataSite.xls について.....	3
	2. DataFilm.csv について.....	3
	3. DataPhoto.csv について	4
V.	参考文献等	5

I. 利用上の注意点

- ・本文書は、今回一般に公開するモニタリングサイト 1000 里地調査（以下、「里地調査」とする）で得られた中・大型哺乳類調査のデータの概要と利用上の注意に関する説明書です。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの使用方法（<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>）」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- ・モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>) をご参照ください。
- ・データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。
＜データ出典の明示例＞
「xx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる (SAT03.zip, <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>, よりダウンロード) 。」
“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (SAT03zip, downloaded from <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>)”.
- ・ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。
- ・データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わります。
- ・本文書は、予告なく変更する場合があります。

II. データセットの概要

- ・本データは、里地調査で実施している赤外線センサーカメラを使用した「中・大型哺乳類調査」で得られたデータです。
- ・全国約 200 ヶ所の調査サイトのうち、哺乳類調査を実施した全 50 サイトで得られたデータです。この中にはおおむね第 1 期（2005 年～）から調査を開始しているコアサイトと第 2 期（2008～2012 年）に調査を開始した一般サイトが含まれており、調査の開始年や調査を実施できた年はサイトによって異なります。詳細は
データ： *DataSite.xls*
をご覧ください。
- ・調査手法の概要：各サイトにおいて赤外線センサー付きフィルムカメラ 3 台（コアサイトは最大 5 台）を設置し、5～10 月頃にかけて撮影します。フィルムは月 1 回交換します。センサーカメラは各サイトの森林内に設置され、それぞれ最低 100m 離して設置されています。調査手法の詳細については調査マニュアルをご参照ください。

- ・調査マニュアル：

[https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/4Mammal_Manual\(ver4.2\).pdf](https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/4Mammal_Manual(ver4.2).pdf)

現地での調査は各サイトを担当する団体・個人が実施しています。写真に撮影された哺乳類の同定は、各調査員が一度行った後、再度哺乳類調査の経験豊かな専門家が行っており、最低2度の同定が行われています。

- ・各サイトの位置情報については

データ：*DataSite.xls*

をご覧ください。緯度・経度については、基本的には小数点以下第4位までの精度で記録していますが、自然環境保全上の理由により詳細な位置情報を公開できないサイトについては小数点以下第1位までの公開にしています。

- ・カメラごとの詳細な位置情報は今回公開する本データセットには収録されていません。ほとんどのサイトで約100haの範囲内において全カメラが設置されています。センサーカメラは基本的には定点として設置されていますが、現地での状況により途中で変更される場合もあります。
- ・本データに収録されているのは哺乳類データのみです。カメラで撮影されることのある哺乳類以外の動物（鳥類や昆虫、ヒトなど）、同定が不能だった写真、撮影ミスだと思われる写真のデータは含まれていません。また、種の保存法の対象となる国内希少野生動植物種（緊急指定種を含む）、環境省の最新版レッドリストで絶滅危惧種（CR、EN、VU）として掲載されている種、および自然環境保全上の理由から各サイトより公開の制限の希望があった在来種については本データに収録されていません。それぞれのサイトに在来哺乳類の部分的な公開制限が設けられているかどうかについてはデータ*DataSite.xls*をご参照ください。

III. データの種類とその概要

データは以下の3種類の表・データベースから構成されます。

①DataSite.xls

各サイトの名前、位置情報、現地調査主体の名称、調査実施期間、データの公開制限の有無等を表形式で記したデータです。

②DataFilm.csv

各フィルムのカメラ設置条件（回収年月日等）についてのデータです。過去の全サイト・全期間のデータがひとつのデータベース形式として収録されています。

③DataPhoto.csv

各写真の撮影日時と撮影された種の種名・個体数のデータです。過去の全サイト・全期間のデータがひとつのデータベース形式として収録されています。

※上記3ファイルは、「SAT03.zip」としてzip形式で圧縮して一つにまとめて提供しております。

IV. 各データの構造・変数についての説明

1. DataSite.xls について

- ・各調査サイトの種別、サイト ID、名称、位置情報、調査を担う現地調査主体の名称（調査グループ名）、調査の実施期間を表で示したものです。
- ・一般サイトでは 3 台、コアサイトではそのサイトの状況に応じて 3 もしくは 5 台のセンサーカメラを設置しています。
- ・各サイトの緯度経度の詳細情報が「非公開」となっているサイトは、それぞれのサイトの自然保護にかかる理由によって位置情報を公開していない場所です。
- ・調査期間は通常はおおむね毎年 5～10 月です。ただしコアサイト「穂谷の里山（大阪府枚方市）」のみ、通年を通じた哺乳類の動態を検証するために 11～4 月もおおむね 3 台のセンサーカメラで調査を継続しています。

2. DataFilm.csv について

■調査 ID

各サイトで設置され現像されたセンサーカメラのフィルムひとつひとつに割り振られている ID です。この調査ではフィルム 1 本が 1 回の調査(カメラの設置 1 回)を意味します。なお、哺乳類が 1 枚も撮影されなかったフィルムについても撮影頻度の算出等のためにデータを収録しています。後述の DataPhoto.csv のデータには含まれていない調査 ID についてフィルムがそれに当たります。

■サイト ID

里地調査の各調査サイトに割り振られた ID です。調査地の詳細については上記 DataSite.xls をご参照ください。

■設置場所地点名

各サイト内で設定されているカメラ設置場所の名前です。なお同じ地点名であってもその場所の設置条件（木漏れ日の位置、獣道の状況）によって設置場所が若干（目安として半径 10m 以内の範囲で）変更されることがあります。

■設置年

■設置月

■設置日

■設置時刻

そのフィルムの充填されたカメラが設置された年月日・時刻を意味します。

■回収月

■回収日

そのフィルムの充填されたカメラが調査員によって回収された年月日・時刻です。

■終了形態

調査終了に際してそのカメラを現地から回収した際のフィルム残数の状態を表します。

「フィルム切れ」：そのフィルムがすべて撮影された状態。

「回収」：まだフィルムが余っている状態で回収。

■終了年

■終了月

■終了日

■終了時刻

そのフィルムを使つての調査が終了した年月日・時刻を表します。この調査で記録が有効となるのはあくまでフィルムがまだ撮影可能な状態でカメラが設置されている期間です。そのため、上記の「終了形態」によって調査が終了したとみなされるタイミングは異なり、フィルムが余っている状態で回収された場合は調査員がフィルムを回収した時刻が、フィルムが既に切れてしまっている状態のときはそのフィルムの最後の写真の撮影時刻が、調査の終了年月日・時刻となります。なお、カメラの動作不良や調査員の時刻設定ミスによって不明となってしまったデータも含まれています。

3. DataPhoto.csv について

■データ ID

そのデータレコード（写真）にわりふられた固有 ID です。

■調査 ID

そのデータレコード（写真）が属するフィルムにわりふられた固有 ID です。上述の「DataFilm.csv」内の調査 ID に対応しています。各写真が撮影されたサイトやフィルムの設置期間を知りたい場合は調査 ID を元に求めてください。

■サイト ID

里地調査の各調査サイトに割り振られた ID です。調査地の詳細については上記 DataSite.xls をご参照ください。

■撮影年

■撮影月

■撮影日

■撮影時刻

その写真が撮影された年月日・時刻です。なお各写真に印字された時刻を元に判別しているため、カメラの動作不良や調査員の時刻設定ミスによって不明となってしまった場合には空欄となっているか判読可能な項目（年や月）のみ入力されています。

■最終同定種名

その写真に撮影された哺乳類の種名です。なお、ごくまれに同じ写真に異なる2種（以上）の種が撮影される場合がありますが、この場合には個別のデータレコードとして入力管理されます。そのため上記の「データID」は、厳密には個々の写真でなく写真に撮影された個々の種に割り振られています。

なお、同定に際しては亜種の区別は行わず母種名が入力されており（例：キタキツネとホンドギツネは区別せずに「キツネ」と入力）、標準和名はおおむね環境省野生生物目録を基準としています。また、チョウセンイタチとホンドイタチのように写真のみからの種同定が困難な近縁種については「イタチ類」のように扱っています。詳細は調査マニュアルを参照してください。

■個体数

その写真に撮影された種（同一種）の個体数です。多くの場合は1個体です。

V. 参考文献等

モニタリングサイト1000 里地調査 中・大型哺乳類調査マニュアル

[https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/4Mammal_Manual\(ver4.2\).pdf](https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/4Mammal_Manual(ver4.2).pdf)

モニタリングサイト1000 ウェブサイト

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

モニタリングサイト1000 里地調査ウェブサイト

<https://www.nacsj.or.jp/activities/guardians/moni1000/>

作成 2022 年 7 月

お問い合わせ先

公益財団法人 日本自然保護協会 モニ 1000 里地調査事務局

担当：高川晋一・後藤なな・福田真由子

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F

Tel:03-3553-4104 Fax:03-3553-0139

E-mail:moni1000satochi@nacsj.or.jp

URL : <https://www.nacsj.or.jp/>

環境省自然環境局生物多様性センター

担当：保全科

〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

Tel:0555-72-6033

E-mail:biodic_webmaster@env.go.jp

URL : <https://www.biodic.go.jp/>